事業承継の支援　～支援事例　（事業引き継ぎ支援センター・プッシュ型）～

経緯

父親から娘への親族内承継（日田市大山町　森梅園）

・昭和36年に森文彦氏が梅農園として開業。剪定技術を磨き、今では右に出る人がないくらいの腕を持つといわれている。
・梅干し（全国梅干しコンクール最優秀賞受賞）を製造販売する。
・文彦氏が高齢（75歳）となり5年以内に承継をと考えていたが、進め方を模索していた。
・日田地区商工会を通じて引継ぎ支援センター（以下センター）へ相談。

新聞にも掲載されました

事業承継の意義・重要性を理解し、最善の方法を模索

取組み内容

・センター主催の事業承継セミナーに娘のあゆみさんが参加、承継計画を作成し重要性を理解。
・商工会・センター・専門家チームでヒアリングして承継上の問題点や課題を抽出した。
・技術の伝承が特に課題であり、梅やスモモなど樹木の剪定技術を父親から、梅干し等食品加工の加工技術は母親から。重要な経営資源を計画的に引継ぐことが確認できた。

後継者としての意識が覚醒、新たな商品開発にも意欲的に挑戦

効果

・代表者である父親から娘さんへの承継時期や承継方法、技術伝承のスケジュールが決定。
・承継時にかかる贈与税、消費税の対応、経理処理、承継手続き等が明確となり、不安も解消。
・承継後の売上アップの新商品として、熟しても落ちない「大吉梅」の梅干しの縁起物シリーズが好評（道の駅などでも販売中）で、更に新商品開発に向けても積極的に挑戦している。
http://moribaien-nouen.com/